



公益財団法人 戸田育英財団 交流会



KIZUNA vol.37

contents

- ② 交流会開催
- ② 役員挨拶
- ② ③ 奨学生から
- ③ 特別講演
- ④ 奨学生OB・OGから
- ④ 第4回理事会

AI技術 !! 奨学生へ



早稲田大学 名誉顧問・名誉教授・元総長
公益財団法人
戸田育英財団 理事

白井 克彦

AIの技術は、一昔前にはチェスの世界一人に勝利したことに驚き、でも囲碁や将棋はなかなか難しいと思われていましたが、それも対等以上になってしまいました。

対象は言語情報に限らず、音楽や画像情報などおおよそ数値化されるものはすべて取り扱うことができます。すでに、皆さんも使っている方が多いでしょう。

それにしても、AI技術の応用範囲は広く、あらゆる分野にインパクトを与え続けることになるでしょう。

問題は、社会的に見て負の要素を持ち込むことも多く考えられることです。

世界中が競争で、新しい、より強力なAIを作り出そうと頑張っているということは、危険性も高まっているということです。

考えてみれば、人間がこの地球上で生活して色々な技術を開発し、利用してきた結果は、今や深刻な環境問題に行き着いていることと同じです。

勿論、核開発とそれの戦争への利用や、原子力発電所の事故処理や使用済み核燃料の処理問題なども典型的な例です。

さしあたり、AI技術を使うことは大変有効なことが多いでしょうが、これからは、AIが強力になればなるほど、それがもたらすものについて、相当深く考えながら使う必要があるということです。

交流会開催

2025年12月14日(日)東京・京橋のAP東京八重洲ビルで、開催されました。現地での開催は初めてで奨学生、OB.OG、大学関係者の皆様約110名のご参加を賜り、1部講演、2部近況報告が行われました。



戸田 博子理事長 挨拶

戸田建設の本社ビル前を通られた方は、どの位おられますか。まだ1年しか経っていない建物です。ご覧になって下さい。

交流会は皆さまの交流が目的の一つとなっています。

同じような道を目指す方がきっと居られると思います。その方に積極的にお話しをされて枝が大きな木になれる、そのような人生を歩んでいただけだと思います。



戸田建設 瀬尾 暢宏 常務執行役員 挨拶

奨学生の皆さんが、各々の分野で素晴らしい成果を上げたこと、そしてその努力に敬意を表します。交流会は皆様が繋がりを深め、それぞれが理解しあえる非常に

いい機会だと思っております。この繋がりを将来にわたって、皆さんのキャリア、人生において貴重な財産となりますことを願っております。



明治大学 藤嶋 利生 学生支援事務長 挨拶

財団の皆様、長年にわたり奨学生をサポートしていただきありがとうございます。財団の奨学金のいいところは、大学の優秀な学生が集まり其々全く異なる分野の方々が交流できる、OB・OGになっても戻れる場があるということが、アドバンテージになっていると思います。講演では大学は学費は高いようでリーズナブルという趣旨に感銘を受けましたが、交流をやっていただいで、つかんでいただけたらと思います。



戸田建設 折原課長乾杯発声

北海道大学 院2年

AIに関する研究をおこない、AIモデルを長期的に活用可能にする検討を行いました。今後、通信会社で働き推奨資格の取得を行っていきます。

芝浦工業大学 院1年

月面を想定した遠隔操作ロボットの研究を行っています。課外活動では自動運転AIチャレンジで決勝に進みました。研究者がどのように対応するかを考えさせられる機会になりました。

東京大学 院2年

地震計から得られたデータとAIによる人や車の分類と、データ解析による研究をしました。2025年は物理探査学会と石油技術学会に参加し、2026年には研究分野と関連の深い石油業界に就職します。

東京音楽大学 器楽フルート 3年

2025年10月に日本演奏家コンクールで2位と千葉県教育委員会受賞を頂くことができました。あと東京音大芸術祭会計部署長として会計報告に頑張っています。

東洋大学 4年

税金を扱う国税専門官の仕事に就くことが決まりました。簿記の知識が必要になるので、今簿記の勉強をしています。卒論は「公的な医療保険制度」について執筆しました。

青山学院大学 2年

幼児の母語獲得と人間以外のコミュニケーションについて学んでいます。ゼミではコミュニケーション学、英語学について興味があります。詩論を書く授業を取り始め、毎週のように詩を書いています。

聖マリアンナ医科大学 4年

10月にCBT(臨床実習の知識)とOSCE(実技試験)の試験に合格して、1月から病棟で実際、先生の後ろで実習を行います。将来の希望の診療科が見つかるように、現場の雰囲気や学んでいきたいと思っています。

東京大学 4年

昨年度まではダンスサークルに所属していましたが、今は投資の記事を書くインターンをしています。業界構造、ビジネス構造を考えたり学びが多くて今後活かして行けたらいいなと思っています。

東京農業大学 1年

9月に交通事故に遭い大学・高校の頃の勉学の記憶が削れていて、目指していたことや、やりたいことが思い出せませんが、これから国家公務員試験や留学、日本百名山の目標に向けて頑張っていきます。

明治大学 4年

2年の時に、米国に留学し、その関係で4年のゼミも翻訳に関するゼミに所属しました。卒業制作は皆さんと異なり特殊ですが、映画を丸々1本翻訳しました。

慶應義塾大学 3年

法律を勉強しており、将来は弁護士を目指しています。最近の目標は社会保険労務士を受けて合格したいと思っています。

東海大学 3年

設計デザインの授業とゼミを取っており、卒業制作の前段階として、自分の好きなもの、興味をきっかけに分析して建築を創造していこうとしています。

東京音楽大学 院1年

国内最大規模のピディナ・ピアノコンペティションのPre特級の、全国大会で金賞を受賞しました。地元の島根県で最初のピアノソロリサイタルを開催の予定をしています。

東洋大学 2年

ミクロ経済学、とりわけゲーム理論の基礎を叩き込んでいます。課外活動はアカペラサークルに所属し歌っています。丸ノ内アカペラストリートというイベントで歌ってきました。

立教大学 3年

野球部に所属していて、2025年はリーグ戦に出場できなかったため、2026年こそは出られるように頑張ります。夢を捨てないで頑張ります。

特別講演



DBS銀行(シンガポール)
月野木 昭彦 氏(戸田育英財団OB)

第1部ではシンガポールのDBS銀行で勤務されている月野木昭彦氏(財団OB)から日本人として「掘む」海外キャリアと題してお伝えしたいポイント①実際に海外で働いてみた経験談②経験からの学び「掘む」ということ、また皆さんに考えて欲しいこと①人生における選択肢としての「海外」②「海外」の生活イメージ③「ご縁」を大切にのテーマを基に75分にわたり講演と質疑を行いました。



早稲田大学 院1年

台風災害の研究をしています。社会インフラの企画、設計、企画、施工後の維持管理を携わる建設コンサルタントを目指しています。



早稲田大学 3年

野球部の所属で、春、リーグ戦3連覇達成でき、その流れで日本代表となり、日米野球選手権大会に出場しました。今後はプロの世界を目指しています。2026年はドラフトイヤーなのでそれに向けて頑張ります。



筑波大学 2年

テスト期間中ですが、お店に入った時、悠仁さまが奥側にいて、そういうことがつくばではよくあるので、つくばに来られた際は、ぜひ気を付けてください。

筑波大学 3年

研究と開発で年末調整のシステムの改修、仕様案件をやりました。研究は生成AIがネット上の文書をいかに検索し、どうやって取るかの検索の部分のアルゴリズムをしています。学内成績優秀者で表彰されました。

中央大学 3年

中学から続けているビッグバンドジャズの部活動に所属しており、多くの地域のイベントに参加しました。ヤマノ・ビッグバンド・ジャズ・コンテストに出場しました。

日本大学 2年

土木工学の基礎を学び、橋の清掃のボランティアに行き、自分で橋のデザインをして、構造計算、模型、それを破壊するなど橋づくりの楽しさを学びました。今後、基礎を学び、どのような研究をしていきたいか考えます。

津田塾大学 2年

大学から成績優秀と人柄を重視して、学科の中から成績優秀者として表彰いただきました。昨年度に引き続き学園祭実行委員の幹部として務めることになりました。

東京科学大学 院1年

コンピューター上で材料を設計、評価をする研究をしています。エネルギーの無駄がない材料の発見を目指して研究しています。目立たないですがモノづくりの基礎になる研究だと考えています。

東京科学大学 2年

金融の数量ファイナンスや計量経済学の研究室に進もうと考えています。資金を動かし株・債券のトレードをしております。

東京理科大学 2年

大学祭があり、吹奏楽と天文研究会に入っていますので、楽器を吹き司会をしました。双子座流星群の極大日ですので、帰り次第、遠征に行きます。ぜひ、空を見てください。

京都大学 院2年

タイでゴム材料の学会に参加しました。タイはゴムの木の産地でもあるし、主要産地にも近い場所で、すごい現場に近い場所で専門的な学びを得ることができました。



京都大学 4年

太陽光エネルギーと水だけを利用して、水素を生成する研究を行っています。30秒しか寿命がなかった材料の寿命を50時間延長することに成功し、3月の学会に出場することになりました。

同志社大学 4年

卒論で16年間続けてきた剣道をテーマとして、試合展開が変化することで、競技者の心理にどう影響を及ぼすか、姿勢推定という分析手法を用いて解析を行っています。



立命館大学 3年

京都はフィールドとしている大学なので、寺社仏閣の重要文化財を中心とした防災計画を研究室で進めます。学園祭の実行委員として予算で企画・実行を行いました。来年も委員長の補佐をします。

東京科学大学附属高 高2年

高校の生徒会長になり、生徒会活動に励んでおります。建築デザイン分野なので、製図や模型の課題に日々追われていて、今日も徹夜して頑張ります。



奨学生OB・OGから

『戸田育英財団の“絆”』

青山学院大学 2016年 卒業



私は現在、商業施設やリゾート施設などの不動産開発における企画の仕事をしております。建築やランドスケープの設計に入る前に、どんな施設だったら面白そうか？儲かりそうか？ということを考える仕事です。歴史や文化を紐解き、マーケットを分析し、開発コンセプトを考え、施設ごとに適した切り口で開発の夢を膨らませ、結果＝人気を集める施設作りを追求していくという仕事で非常にやりがいがある一方、私自身まだまだ“切り口”の見つけ方も“夢”の膨らませ方もプロフェッショナルとして未熟だと感じており、30代の今も鍛錬と挑戦の日々を過ごしております。

こうして苦しくも充実した日々を納得感を持って過ごしておりますが、でも時折気づけば仕事を“こなしている”感覚になっていたり、挑戦の思いがしばんでいたりすることもあります。そしてなぜかそのような時に合わせるように毎年戸田育英財団の懇親会が重なる運命にありまして、意欲に溢れ、挑戦を重ねて道を拓かれている皆様に囲まれる中で自分の甘さに気づき、自分の未来は自分で拓くという基本に立ち返って自分を奮い立たせ、前に進ませてもらうというありがたい時間を頂戴しております。この財団の“絆”は、私にとって先生であり、目標であり、宝物です。皆様にとってもこの“絆”が素敵な宝物でありますように。

『クラリネット奏者』

東京音楽大学 2017年 卒業



奨学生として海外へも広く学びを得る事ができた学生時代から早9年、現在は家庭に恵まれ子育ての最中、東京を拠点にフリーランスのクラリネット奏者として活動しています。

オーケストラや吹奏楽への客演、室内楽での演奏が主な仕事ですが、これまでに多くの都道府県へ赴き出会う人々と会話し、食文化に触れながら音楽を届ける経験をさせていただきました。

人の心を豊かにする事の出来る音楽で、私の地元北海道へもいつか文化的な貢献をしてゆきたいという気持ちをずっと溜めていたのですが、昨年ついに「All for HOKKAIDO」をテーマに掲げ北海道にゆかりを持ち日本各地で活躍する音楽家54名と「プロウインドオーケストラ北海道」（道内“初”の大編成プロ吹奏楽団）を立ち上げました。お陰様で札幌での旗揚げ公演は満席御礼、他各地での室内楽公演や学生を対象とした講習会を1年間で計8回開催する事ができました。YouTube、各種SNSでも団の演奏等発信しておりますので是非「プロ北」と検索してご覧いただけましたら活動の励みになります。

今後も北海道の隅々まで、私たちが日々学び大切にする音楽を誠実に伝え、教育的にも盛んな吹奏楽を通して文化的発展を担う団体として成長できるよう、社会に貢献する音楽家でありたいと思います。

寄付報告（ご芳志に深く感謝申し上げます。）

月野木 昭彦氏 2025.12.23 [金50,000円] シンガポールからご送金いただきました。

2025年度 第4回理事会（2026.2.17）

各議案が議決されました。

- 第1号議案 2026年度事業計画
- 第2号議案 資金調達・設備投資
- 第3号議案 2026年度収支予算
- 第4号議案 奨学金概要の改定
奨学金の給付金額
(大学生)
- 第5号議案 選考委員の報酬に関する
規定



理事会風景



戸田建設瀬尾常務執行役員挨拶



イラスト 寺尾有里彩(育英財団OG)

事務局だより

2025年末に開催いたしました交流会では、専攻分野を超えて語り合う皆様の姿に、私たち事務局も大きな刺激と元気をいただきました。

さて、突然ですが、皆さんは「内省」という言葉を意識したことはありますか？

私は入社4年目の頃、上司の勧めでコーチングを受けたことをきっかけに、自分と向き合うことの重要性を知りました。当時は目の前の業務をこなすことに精一杯で、自分の内面は後回しになりがちでしたが、繰り返し自分を深掘りしたことで、「自分はどうかしたいか」という指針を持つことができました。社会人7年目となった今、この内省する習慣は、迷った時に自分を支えてくれると確信しています。

皆さんも研究や就職活動を行う中で、ぜひ「自分だけの振り返りの時間」を大切にしてみてください。

(森)

